



2025年2月14日

各位

会社名 恵和株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長村 恵 氏  
(コード番号：4251 東証プライム)  
問合せ先 取締役執行役員 管理本部 本部長  
兼 財務部長 吉岡 佑樹  
TEL. 03-5643-3783

### 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年8月14日に公表いたしました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の通期連結業績予想数値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

2024年12月期通期連結業績予想数値と実績値との差異  
(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,798	百万円 3,146	百万円 3,275	百万円 2,192	円 銭 113.73
実績値(B)	21,130	4,739	5,210	2,790	144.74
増減額(B-A)	1,332	1,593	1,934	597	—
増減率(%)	6.7	50.6	59.1	27.3	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	17,570	2,455	2,757	1,983	102.92

(通期連結業績予想数値との差異の理由)

売上高につきましては、光学製品事業において、高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」が堅調に推移するとともに、従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」について、市況の回復による需要増、新規受注の獲得、並びに既存取引先におけるシェアアップ等により、「ノートPC・タブレット」向けを中心に通期連結業績予想対比増収となったことに加えて、2024年12月期における実績為替レートが想定より円安となったことにより、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、上記の光学製品事業の増収及び為替影響により、営業利益は前回予想を上回りました。また、営業外収益において、主として、当社が保有する外貨建債権の期末為替レートによる評価替えにより為替差益が発生したことから、経常利益は前回予想を上回り、特別損失として事業再構築費用1,179百万円、減損損失106百万円を計上したものの、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回予想を上回りました。

なお、前回予想の下期の為替レート的前提は、1US\$=143.0円としておりましたが、実績は1US\$=150.9円となっております。

以上